

8ポート・ミニHUB CentreCOM® MR815TL ユーザーマニュアル

この度は、CentreCOM MR815TL(以下MR815TLと略記します)をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。このユーザーマニュアルをお読みになり、正しい設置を行ってください。また、お読みになった後も、大切に保管してください。

● 製品概要

MR815TLは、10BASE-Tポートを8ポート装備したリピータ(=ハブ)です。

- 軽量かつコンパクトなボディサイズ
- ネットワークや機器の状態が一目でわかるLED表示付き
- カスケード接続用ポートを1ポート装備
- デスクサイドやスチール製パーティションに取り付け可能なマグネット Kit MS(別売)対応

● 同梱品一覧

最初に下記の付属品が入っていることを確認してください。万一、欠品、不良などがございましたら、お買い求めいただいた販売店までご連絡ください。

- CentreCOM MR815TL(本体)
- ACアダプター
- ゴム脚(粘着タイプ・4個)
- 製品保証書(3年保証)
- お客さまインフォメーション登録カード
- シリアル番号シール
- ユーザーマニュアル(本書)

● 再梱包

本製品を移送する場合、工場出荷時とあなじ梱包箱で再梱包されることが望まれます。再梱包のために、本製品が納められていた梱包箱、緩衝材などは捨てずに保管しておいてください。

● 各部の名称と機能

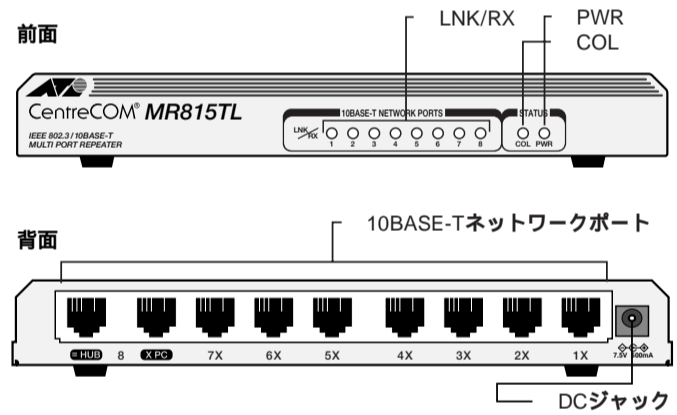


図1 外観図

LNK/RX(緑)

ポートが正常にリンクされ、相互に通信が可能な状態にあるときに点灯します。このLEDは、各ポートごとに用意されています。また、パケットが正しく受信されているときに点滅します。

PWR(緑)

電源が供給されると点灯します。本製品は、電源スイッチを持っていません。

COL(黄)

コリジョンが発生しているときに点灯します。

10BASE-T ネットワークポート

10BASE-TのUTPケーブル(シールドなしツイストペアケーブル)を接続します。パソコンなどを接続するためのMDI-Xポート(1X~7X、および×PC)と、ハブやスイッチとカスケード接続するためのMDI(=HUB)ポートがあります。

注 ポート8は×PC・=HUB共用となっているため、同時に2つのポートを使用することはできませんので、ご注意ください。

DC ジャック

ACアダプターを接続するためのコネクタです。

● 設置するまえに

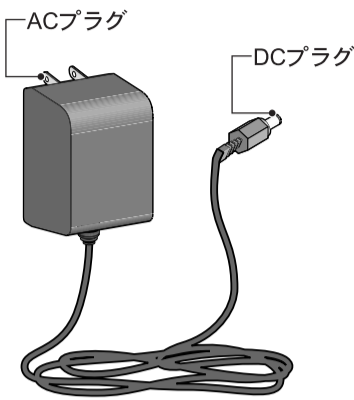
設置場所

次のような場所への設置は避けてください。

- 直射日光のあたる場所、湿気の多い場所や水のかかる場所
- 温度変化の急激な場所(暖房機、エアコン、加湿器、冷蔵庫の近くなど)
- ほこりの多い場所
- 強い振動、腐食性ガスの発生する場所

電源

商用100V電源のコンセントを用意してください。コンセント形状は、MR815TLに付属のACアダプターのACプラグに適合するものを使用してください。必ず、MR815TLに付属のACアダプターを使用し、2ピンのAC100Vコンセントに接続してください。不適切なACアダプターやコンセントをご使用になりますと故障や火災の原因となります。



ゴム脚の取り付け

本製品を机の上などの水平な場所に置いて使用する場合は、必ず付属のゴム脚を本体底面の四隅に貼り付けてください。衝撃を吸収するクッションの役目をします。貼り付けは、貼り付ける部分の汚れをよく拭き取ってから行ってください。貼り直しは、接着力を著しく弱めます。

マグネットの取り付け

マグネット Kit MSを使用して、本製品をOAデスクの横などの垂直な場所に設置することができます。(マグネット Kit MSは壁面設置用マグネット4個入りの別売品です。)

- 本体底面のゴム脚を取り外します。
- プラスドライバを用いて本体底面をとめていたネジを取り外します。
注 この時、絶対に上部ケースは外さないでください。本製品内蔵のコンポーネントが静電気放電などによって損傷する可能性があります。
- 次に、マグネット Kit MSのマグネット4個のうち2個を手順2で外したネジを用いて本体に固定します。

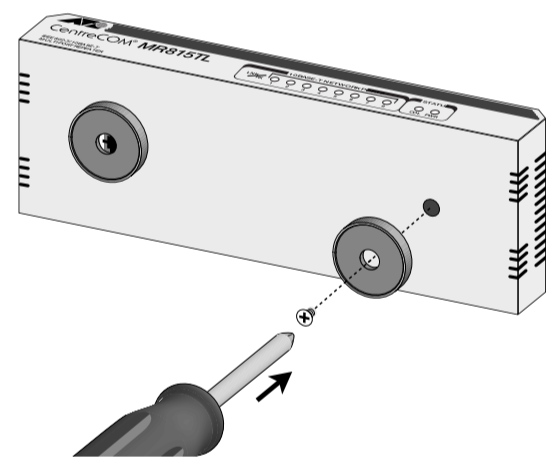


図2 マグネットの取り付け

マグネット使用および取り扱い上の注意

- 注意** 設置面の状態によっては、マグネットの十分な強度を得られない場合があります。
- 指示** マグネットの取り付けおよび機器の設置は、ケーブルなどの重みにより機器が落下しないように確実に行ってください。ケガや機器破損の原因となるおそれがあります。
- 禁止** マグネットを使用して機器を高所に取り付けしないでください。落下によるケガや機器破損の原因となるおそれがあります。
- 禁止** 振動や衝撃の多い場所、および不安定な場所には設置しないでください。落下によるケガや機器破損の原因となるおそれがあります。
- 禁止** OAデスクなどにマグネットで機器を取り付けた状態で、機器をずらさないでください。被着面の塗装などに傷がつくおそれがあります。
- 禁止** マグネットにフロッピーディスクや磁気カードなどを近づけないでください。磁気の影響により記録内容が消去されるおそれがあります。
- 禁止** マグネットをパソコンやディスプレイなど磁気の影響を受けやすい電子機器に近づけないでください。磁気の影響により故障などの原因となるおそれがあります。

● 設置・接続のしかた

設置

本製品の両側面にある通気口が異物などによってふさがれないような場所に設置してください。また、本製品は屋外ではご使用になれません。

ケーブル

すべてのケーブルが機器間を接続するのに適切な長さであることを確認します。本製品と端末を接続するケーブルの長さ、また本製品同士をカスケード接続するケーブルの長さは100m以内にしてください。また、ケーブルはカテゴリ3以上のUTPケーブル(ストレートタイプ)を使用してください。

接続手順

- ACアダプターのDCプラグを本体背面のDCジャックに差し込みます。
- ACアダプターのACプラグをACコンセントに差し込み、本体前面のSTATUSのPWR LED(緑)が点灯していることを確認します。
- 本体背面にある、MDI(=HUB)ポート以外の10BASE-TネットワークポートにUTPケーブルを接続します。ハブやスイッチへの接続については「カスケード接続」の節を参照してください。
- ネットワークに接続する端末(パソコンなど)に10BASE-Tネットワークインターフェースカードが正しく取り付けられていることを確認し、UTPケーブルのもう一方を端末のネットワークインターフェースカードに接続します。UTPケーブルが正しく接続されていれば、接続したポートのLNK/RX(緑)が点灯します。

● スタンドアロン

本製品は単純なスタンドアロンの環境で使用できます。本製品と端末間のUTPケーブルの長さは100m以内にしてください。

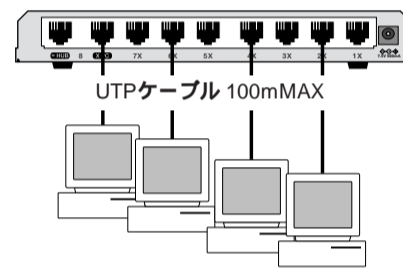


図3 スタンドアロンの接続例

● カスケード接続

MDI(=HUB)ポートを使用すると、クロスタイプのUTPケーブルを使用することなく、簡単にカスケード接続することができます。

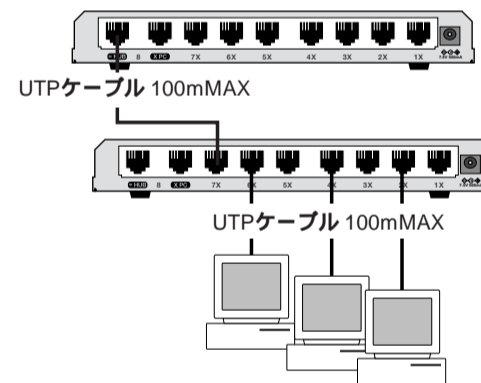


図4 カスケード接続

- MDI(=HUB)ポートにUTPケーブル(ストレートタイプ)を接続します。
- UTPケーブルのもう一方の端を接続先機器の通常の10BASE-Tポート(MDI-X)に接続します。

リピータ(=ハブ)は、最大4台までカスケード接続することが許されています(これは通信が正常に行われるようにするためのルールであり、IEEE 802.3によって規定されています)。図5のように5台以上のハブをカスケード接続しないでください。ポートの数を増やすためにハブのカスケードを行う場合は、図6のようにスター型の構成にすることをおすすめします。

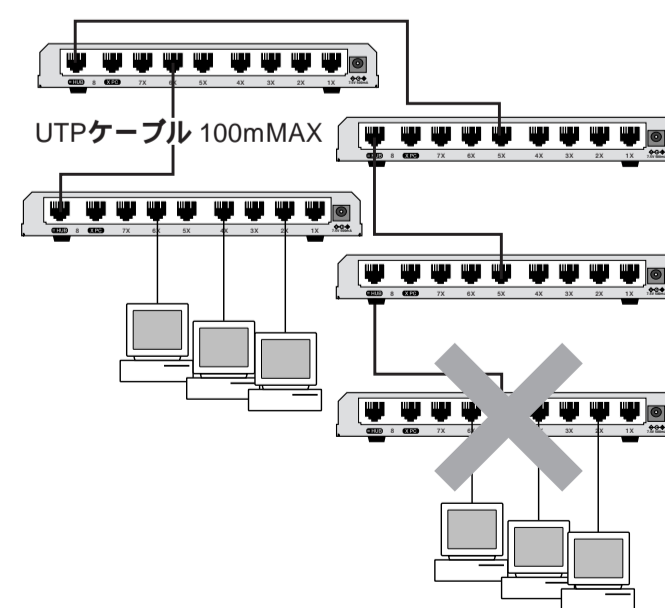


図5 カスケード接続の段数を超えた例

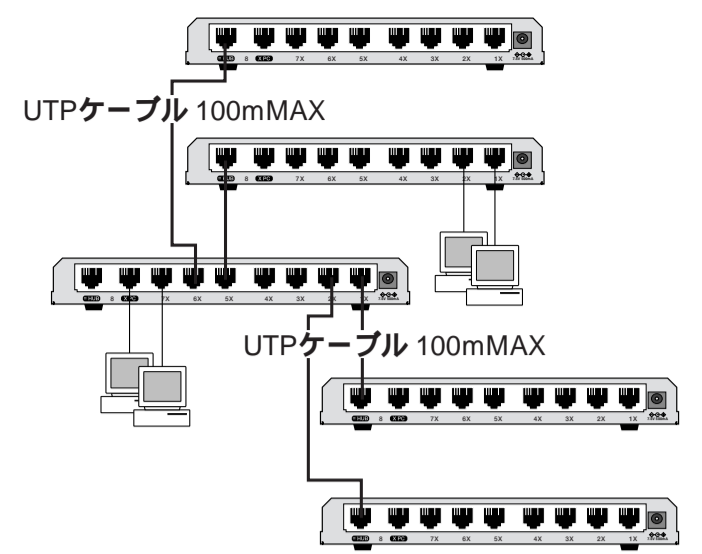


図6 スター型構成にしたカスケード接続

● トラブルシューティング

「通信できない」とか「故障かな?」と思われる前に、以下のことを確認してください。

PWR LEDは点灯していますか?

PWR LEDが点灯していない場合は、ACアダプターのDCプラグやACプラグが正しく接続されているかどうか確認してください。なお、本製品には、電源スイッチはありません。

LNK/RX LEDは点灯していますか?

LNK/RX LEDは接続先の機器と正しく接続されている場合に点灯します。点灯しない場合、以下のことを確認してください。

- 接続先の機器に電源が入っているか確認してください。
- 接続先の機器が通信可能な状態になっているか確認してください。
- UTPケーブルが正しく接続されているか、正しいUTPケーブルを使用しているか、UTPケーブルが断線していないかなどを確認してください。

- 接続ポートを確認してください。カスケード接続している場合、一方はMDI(=HUB)ポートに、他方はMDI-X(×PC)ポートに接続されていなければなりません。パソコンなどと接続する場合は、MDI-Xポートを使用してください。

● コネクタの仕様

10BASE-Tネットワークポートは、RJ-45型と呼ばれるモジュージャックを使用しており、以下のような結線になっています。

- (1) RD + 受信データ(+)
- (2) RD - 受信データ(-)
- (3) TD + 送信データ(+)
- (4) --- 未使用
- (5) --- 未使用
- (6) TD - 送信データ(-)
- (7) --- 未使用
- (8) --- 未使用

● 製品仕様

サポート規格

IEEE802.3の10BASE-Tの規格に適合

電源部

- 定格入力電圧 : AC100V
- 入力電圧範囲 : 90~110V
- 定格周波数 : 50/60Hz
- 平均消費電力 : 3.7W(最大6.9W)
- 平均発熱量 : 3.2kcal/h(最大6.0kcal/h)

環境条件

- 保管時温度 : -20 ~ 60
- 保管時湿度 : 95%以下
(ただし、結露なきこと)
- 動作時温度 : 0 ~ 40
- 動作時湿度 : 80%以下
(ただし、結露なきこと)

外形寸法(突起部を含まず)

158(W)x54(D)x21(H)mm

重量(ACアダプターを含まず)

240g

取得承認

EMI : VCCIクラスA

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA技術処理装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

● 保証

製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」をお読みなり、「お客さまインフォメーション登録カード」に必要事項を記入して、当社「お客さまインフォメーション登録係」までご返送ください。

「お客さまインフォメーション登録カード」が返送されていない場合、修理や障害発生時のサポートなどが受けられません。

保証の制限

本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害(人の生命・身体に対する被害、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない)については、弊社はその責をいっさい負わないこととします。

● ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、右の「調査依頼書」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、下記のサポート先に FAX してください。

電話による直接の問い合わせはなるべくご遠慮ください。

FAXで詳細な情報をお知らせいただくと、電話によるお問い合わせよりも、より早く問題を解決することができます。

記入内容の詳細は、「調査依頼書のご記入にあたって」をご覧ください。

アライドテレシス サポートセンター

Tel: 0120-860-772

月～金 (祝・祭日を除く)10:00-19:00

土 (祝・祭日を除く)10:00-17:00

Fax: 0120-860-662

年中無休 24 時間受け付け

● 調査依頼書のご記入にあたって

調査依頼書は、お客様のご使用環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。障害を解決するためにも以下の点にそって、十分な情報をお知らせください。記入用紙で書き切れない場合には、別途プリントアウトなどを添付してください。

● 使用しているハードウェアについて

* 製品名、製品のシリアル番号(S/N)、製品リビジョンコード(Rev)を調査依頼書に記入してください。

製品のシリアル番号、製品リビジョンコードは、製品の底面に貼付されているバーコードシールに記入されています。

(例)

S/N 000770000002346 Rev AA

● お問い合わせ内容について

* どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状況で発生するのかを出来る限り具体的に再現できるように記入してください。

* エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージ内容のプリントアウトなどを添付してください。

● ネットワーク構成について

* ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。

* 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。

● ご注意

・本マニュアルは、アライドテレシス(株)が作成したもので、すべての権利をアライドテレシス(株)が保有しています。アライドテレシス(株)に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。

・予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがあります。ご了承ください。

・改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。ご了承ください。

・本製品の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

Copyright ©1998-1999 アライドテレシス株式会社

● 商標

CentreCOM は、アライドテレシス株式会社の登録商標です。

● マニュアルバージョン

1998 年 12 月 Rev.A 初版
1999 年 4 月 Rev.B 仕様変更

調査依頼書(CentreCOM MR815TL)

年 月 日

一般事項

1. 御社名：

部署名：

ご担当者：

ご連絡先住所：〒

TEL: ()

FAX: ()

2. 購入先：

購入年月日：

購入先担当者：

購入先(TEL): ()

ハードウェアとネットワーク構成

1. ご使用のハードウェア機種(製品名)、シリアル番号、リビジョン

製品名： CentreCOM MR815TL



2. お問い合わせ内容

別紙あり

別紙なし

設置中に起こっている障害

設置後、運用中に起こっている障害

3. ネットワーク構成図

別紙あり

別紙なし

簡単なもので結構です。ご記入をお願いします。

使用および取り扱い上の注意

本製品を安全に使用するために、次の事項を必ず守ってください。守られていない場合、感電やケガ、火災、故障の原因となります。



分解や改造をしない

ネジで固定されているパネルやカバーを開けたり、部品を変更して使用したりしないでください。内部には電圧が高い部分があり、感電や発火のおそれがあります。



雷発生時には装置にさわらない

雷発生時には、本体、および電源コード、接続ケーブルなどにさわらないでください。雷発生時に本体、ケーブル類に触れると感電のおそれがあります。



付属の AC アダプターをご使用ください。

本装置に電源を供給する場合には、必ず本装置に付属の AC アダプターをご使用ください。不適切な AC アダプターをご使用になった場合のお客様が被った損害についてはいかなる責任も負いかねます。

AC アダプターのコードは無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしないでください。また、圧力がかかりコードがつぶれてしまうような箇所に AC アダプターのケーブルを敷設しないでください。



通気口をふさがないでください。

本装置の通気口をふさがないでください。通気口をふさいだ状態で本装置を使用すると、加熱などにより故障、火災の恐れがあります。



取り扱いは丁寧に

落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。



適切な場所に設置や保管をする

次のような場所に設置や保管をしないでください。火災や感電の原因となることがあります。
・直射日光の当たる場所
・高温、多湿の場所
・火気のある場所
・ほこりが多い場所
・振動が激しい場所
・腐食性のガスが発生する場所

ご使用いただける環境の範囲は次のとおりです。
温度0～40% 湿度80%以下(ただし、結露なきこと)



設置や移動のときは電源プラグを抜く

本製品を設置、および移動する場合は、接続されている装置の電源スイッチを切り、本製品の AC プラグをコンセントから抜いて行ってください。電源コードが傷つき、火災や、感電の原因となったり、装置の落下などによりケガの原因となることがあります。



本体ボディのお手入れ

本体ボディのお手入れは、柔らかい乾いた布でふいてください。汚れがひどい場合は、水でうすめた中性洗剤をふくんだ布でふいた後、からぶきしてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。